

10月11日(火)10時から中央公民館で「子育て応援講座 10月講座」を開催しました。

今回は「SDGsな取組み 環境にやさしい“みつろうラップ”」というテーマで、地球温暖化やプラスチックごみの増加による海洋汚染など環境問題について学習しました。

また、脱プラスチックごみの取組みとして、環境にやさしく洗って繰り返し使える“みつろうラップ”のワークショップを行いました。

講師は10年前から「エコブルー」実行委員会の代表を務める 井藤 優子さん。

「できるだけごみを出さない、使い捨てのプラスチックを使わない」をテーマに、量り売りや環境に配慮した商品のマルシェなどを開いて環境問題について様々な取組みを行っています。



お友だちの田代さんもアシスタントとして参加してくれました(^-^)/



みんなで楽しく交流できました！



久しぶりのワークショップにみんなワクワク！



★講座に参加された方々の感想をみなさんと共有するために、アンケートの一部を掲載します。

ぜひ、ご一読ください。

参加者 32名 内アンケート回答者 25名

○今回の講演を聴いて学びはありましたか。

大いにあった 20名          あった 5名

○どのような学びがありましたか。

プラスチックごみのことは数年前から言われていたことですが、いまだに日本は燃やすことでしか処理できてないことにとても大きな衝撃を受けました。

どうして脱プラスチックが必要なのか、クイズを通して楽しく学ぶことができました。少しでもプラスチックを使う回数を減らしていきたいです。自宅でも作ってみたいと思います。

海にプラスチックごみが多いことや鳥の餓死など知らないことが多かった。

少しでもプラスチックごみを減らせるよう、日々考えながら生活したいと思いました。

SDGsについての取組みを知れたこと、みつろうラップを初めて作ってみてエコな使い方を学べてよかったです。

○学んだことを今後の家庭生活や地域活動に活かしたいと思いませんか。

大いに思う 15名          思う 9名          無回答 1名

○今回の講座に参加した感想をお聞かせください。

時々スパビーチを散歩することがあり、そのたびにプラスチックごみが流れついている光景を目にしてきました。ごみには日本語が書かれているものや別の言語で書かれているものもあり、改めて海が繋がっていること、プラスチックごみの問題は世界中の問題だと思いました。今日の講座を通してさらに一人ひとりの考え方が重要なのだと感じました。

数年前から気になっていたみつろうラップを作ることができてよかったです。作るだけでなく、環境のこと、プラスチックごみのことも学べてとても有意義な時間を過ごすことができました。

みつろうラップを実際に作ることができてうれしかったです。作ったものを通して子どもたちと環境について考えてみたいと思います。

みつろうラップに興味をもっていたので今回の講座を知り参加させていただきました。お話もわかりやすく色々学びがありました。ワークショップもとても楽しく参加できました。

環境問題について考えるいい機会になりました。脱プラ社会に向けて身近なことからできることを見つけていきたいと思いました。